

# 台東まなび 第28号 平成29年7月発行 タイムズ



編集発行：台東区教育委員会 〒110-8615 台東区東上野4丁目5番6号 ☎5246-1402 ㊚5246-1409

主な内容	2ページ	◆ みんなで花育を進めましょう！！ ◆ 夏休みは児童館で、たくさんの仲間と楽しもう！
	3ページ	◆ 地域との交流で、人とかかわる力を育みます ◆ 中央図書館の催し物 ◆ <b>連載</b> ころざし高く
	4ページ	◆ 学校選択制度と区立中学校の紹介 ◆ <b>連載</b> リレートーク

## 史上初！東京で2度目のパラリンピック！ 障害者スポーツをもっと身近に感じましょう！！

教育委員会では、障害の有無や体力に関わらず楽しめるパラリンピック競技の体験会やスポーツ教室、障害者スポーツを支える指導者やボランティア向けの講習会等を実施しています。

2020年東京パラリンピック競技大会の開催をきっかけに障害者スポーツを身近に感じ、パラリンピックへの気運を高めていきましょう。

### パラリンピックとは？

パラリンピックは4年に1度、障害のあるトップアスリートが競い合う世界最高峰の国際競技大会です。オリンピック（夏季・冬季）の開催年に、原則としてオリンピックと同じ都市・同じ会場で開催されます。

パラリンピックという言葉はParaplegia（下半身まひ）とOlympic（オリンピック）の言葉を合わせて、1964年東京オリンピック競技大会の際に日本人が名付けました。

#### ◆ パラリンピックの歴史 ◆

障害のある方の国際的なスポーツ大会は、1948年にイギリスの病院で開催されたアーチェリーの競技大会が始まりとされ、第二次世界大戦で損傷した兵士たちのリハビリの一環として開催されたものでした。

1960年のローマオリンピック競技大会後に行われた大会が第1回パラリンピックとして位置づけられ、冬季大会は1976年にスウェーデンのエンシェルツヴィークで第1回冬季パラリンピックが開催されました。

当初はリハビリテーションの側面として始まったパラリンピックですが、現在はアスリートによる競技スポーツへと発展し、ロンドンパラリンピックでは史上最多となる164の国と地域から4,237人が参加しました。

2020年の東京パラリンピック競技大会は16回目の開催となり、日本では1964年・東京大会（夏季大会）、1998年・長野大会（冬季大会）に次いで3回目の開催となり、同一都市で2度目の開催となるのは夏季大会においては初のこととなります。

### ●日本のパラリンピック（夏季大会）・メダル獲得数一覧

	開催年	開催都市	金	銀	銅
第1回	1960	ローマ	不参加		
第2回	1964	東京	1	5	4
第3回	1968	テルアビブ	2	2	8
第4回	1972	ハイデルベルグ	4	5	3
第5回	1976	トロント	10	6	3
第6回	1980	アーネム	9	10	7
第7回	1984	ニューヨーク・ストークマンデビル	9	7	8
第8回	1988	ソウル	17	12	17
第9回	1992	バルセロナ	8	7	15
第10回	1996	アトランタ	14	10	13
第11回	2000	シドニー	13	17	11
第12回	2004	アテネ	17	15	20
第13回	2008	北京	5	14	8
第14回	2012	ロンドン	5	5	6
第15回	2016	リオデジャネイロ	0	10	14

### 2020東京パラリンピック競技大会の種目一覧(22種目)

- |                              |              |             |
|------------------------------|--------------|-------------|
| ・ポッチャ                        | ・柔道          | ・パラ陸上競技     |
| ・シットングバレーボール                 | ・パラカヌー       | ・卓球         |
| ・車椅子バスケットボール                 | ・ボート         | ・車いすフェンシング  |
| ・自転車競技                       | ・トライアスロン     | ・ウィルチェアラグビー |
| ・馬術                          | ・パラパワーリフティング | ・車いすテニス     |
| ・視覚障害者5人制サッカー<br>(ブラインドサッカー) | ・射撃競技        | ・バドミントン     |
| ・ゴールボール                      | ・パラ水泳        | ・テコンドー      |
|                              | ・アーチェリー      |             |

※下線の競技は今年度、体験会で実施する競技です。

### 障害者スポーツを体験する・始める

#### シットングバレーボール体験会

(10～11月頃に実施予定)

座ったまま行う6人制のバレーボールで、常に肩から臀部までの上体の一部を床に接触させたままプレーする競技です。



#### 車椅子バスケットボール体験会

(12月頃に実施予定)

一般のバスケットボールと同じで1チーム5人でプレーし、一般の競技と同じ高さ(3.5m)のゴールに向けボールを入れる競技です。



#### 障害者水泳教室

(11～12月頃に実施予定)

障害のある方のスポーツをはじめのきっかけづくりのため、専門的指導員の指導のもと全身運動が行える水泳教室を実施しています。



#### ポッチャ体験会

(平成30年1月～2月頃に実施予定)

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のボールを投げたり、転がしたりして、いかに近づけるかを競う競技です。



### 障スポチャレンジ(シットングバレーボール)

(毎月第1木曜日・第3月曜日に実施)

障害の有無に関わらず、区民の皆さんが気軽に障害者スポーツに親しんでいただけるように、たなかスポーツプラザで「障スポチャレンジ」としてシットングバレーボールができる場を開放しております。会場には指導や相談ができる指導員もおります。



### 障害者スポーツを学ぶ・支える

#### 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

(平成30年2月上旬に実施予定)

障害の特性等についての専門的な知識やサポート技能を学ぶ講習会を開催します。



(画像はイメージです)

#### 障害者水泳教室向け・指導者養成講座

(5・6月に実施済み)

障害のある方を対象に水泳指導を行うことができる指導員を養成するための講習会を開催します。



※上記の体験会・講習会等の詳細な開催日時につきましては決定次第、広報たいとう・ホームページ・町会回覧等にてお知らせいたします。

●お問合せ先：スポーツ振興課 ☎5246-5853